

平成30年度学校関係者評価書

令和元年5月20日

学校法人修道幼稚園

修道こども園長 村山 留美子

学校法人修道幼稚園学校関係者評価委員長 青木 衛

| 1 修道こども園教育・保育目標 | | 「心身ともに健康で明るきのびのびとした元気いっぱいの子供たちを育てたい」 | | | |
|---|---|---|---|---------------|---|
| 2 本年の重点目標 | | ○生活に必要な、健康・安全の習慣を身に着ける ○活動を通して人間関係を深め、社会性を養う | | | |
| 3 自己評価とそれに対する学校関係者評価結果 ※評価点は、4:十分成果があった 3:成果があった 2:少しあった 1:成果がなかった の数値を表す。 | | | | | |
| 評価項目 | 園としての取り組み(観点) | 自己評価点 | こども園としての編成と改善策 | 学校関係者評価委員会評価点 | 学校関係者委員会の意見 |
| ①教育・保育の計画性 | <ul style="list-style-type: none"> 園児の実態に合った教育・保育や、行事が組まれているか 指導計画の評価を定期的に行い指導に生かされたか | 4 | 教育課程や保育計画を全教職員が理解し、教育・保育に当たったが、特に乳児保育に経験を活かし、おおむね目標が達成されたと思う。 | 4 | 指導についてはいろいろな意見があると思うが、「こども達の活動」を最優先に取り組んでいると思う。目標は達成された。 |
| ②保育の在り方幼児へに対応 | <ul style="list-style-type: none"> 個の発達に合わせた保育に心かけた。 基本的な生活習慣をおろそかにしない保育であったか 子供同士の心の通じ合いを大切にできたか | 4 | <ul style="list-style-type: none"> 年齢に合わせた保育の中で日々の成長や発達の姿をしっかりと捉えて、一人一人に合わせた保育に努めた。 保育者間で共通の理解を深められた。 | 4 | 大人数であり大変と思うが今までのようにアットホームな雰囲気を守ってほしい。集団生活や協調性が身についているようだ。 |
| ③保育教諭としての資質・能力適正について | <ul style="list-style-type: none"> 保育内容の事前準備や、事後処理が適切であったか 環境整備に気を配り適切に対処できたか 係りの一員として自分の力を発揮できたか 研修が充分できたか | 4 | <ul style="list-style-type: none"> その日の保育について事前に話し合い、役割分担をはっきりさせた。今後も職員間のコミュニケーションを図り、まとまりあるクラス運営に努めたい。 研修は十分できた | 3 | 行事等で準備が大変のようで改善できるように努めてほしい。行事にも研修結果が出ている様だ |
| ④保護者への対応 | <ul style="list-style-type: none"> 園と保護者との連絡がうまくいっていたか こどもの社会性や成長を保護者と共有しながら保育ができたか。 | 4 | <ul style="list-style-type: none"> 送迎時に直接会話を通じて日々の育ちを伝えたり、家庭での様子を聞いたりして子供の成長を共有できた。 今後も保護者との連絡を大切にして信頼関係を築いていきたい。 | 4 | 保護者との対話を大切にしている姿勢がみられる。PTAの役員との協力体制が良い行事の時にも保護者との協力体制が見受けられた。 |
| ⑤地域の自然や社会との関わり | <ul style="list-style-type: none"> 地域の自然や施設を活用できたか 地域への開放や子育て支援ができたか | 4 | <ul style="list-style-type: none"> 行事には地域の皆様の参加や夏季地域の祭りに参加した。 子育て支援「親子教室」や「子育て相談」を継続してゆく。 | 4 | 子育て支援活動は好評につき継続して、地域の子どもたちを育ててほしい。祭りを通じて地域を盛り上げてほしい |